

特定非営利活動法人ピープルデザイン研究所（所在地：東京都港区）

事業名

“晴れの舞台”で働く体験から学び、「社会生活力」を身につける生涯学習プログラムを地域連携により拡大促進し、社会参画へとつなげていく実践研究

主な連携先

川崎市 健康福祉局 障害者社会参加・就労支援課、
社会福祉法人 県央福祉会 企業応援センターかわさき、市内福祉事業所
Jリーグ川崎フロンターレ、Bリーグ川崎ブレイブサンダース

主な対象

知的・精神・発達障害、肢体不自由、ひきこもり等
(年齢は10代～70代まで)

事業の趣旨・目的

神奈川県川崎市において地域リソースを活用して、行政・企業・団体・福祉事業所・スポーツチーム等と連携。スポーツなどの“晴れの舞台”において、働く体験を通じた学びの場を常態的に創出し、地域システムに発展させモデル化。まずは地域単位で、共に学び・働き・生きる共生社会の実現を目指す。そしてその知見やノウハウを地方地域にオープンソースとして提供し、日本各地に学びの場を拡充する。

事業実施体制

企画・運営：NPO法人ピープルデザイン研究所
運営・協力：川崎市、企業応援センターかわさき
受入・協力：Jリーグ 川崎フロンターレ、Bリーグ 川崎ブレイブサンダース他4社
参加・連携：川崎市内の福祉事業所、就労援助センター、自立や引きこもり支援施設
23事業所

学習プログラムの内容

【概要】市内のJリーグ 川崎フロンターレやBリーグ 川崎ブレイブサンダースをはじめとするプロスポーツのホームゲームや、映画・音楽などのイベントなどにおいて、障害者が運営スタッフとして働き、その体験を通じて社会に必要な生活力を学び、身につける場を提供。

【日程】平日、土日祝、GW、お盆・お正月休みなど問わず実施。

【時間】単日3時間半程度

【対象】知的・精神・発達障害、肢体不自由、ひきこもりの方など

【地域】神奈川県川崎市から、以下全国13地域へ拡大展開中

東京都渋谷区・港区・千代田区・品川区・新宿区・中野区、
埼玉県飯能市、静岡県藤枝市、島根県浜田市、新潟県新潟市、
宮城県仙台市、北海道札幌市・旭川市

研究の成果と課題

- 川崎市における学習プログラムは令和4年4月から令和5年2月までに**39回実施。障害当事者延べ150名が参加。**
- その他地域における実施が飛躍的に増え、**12地域に拡大。**
合計の**実施回数は54回で、障害当事者が延べ383名が参加。**
- 受入先企業やスポーツクラブにおいて**障害者理解が深まったりと、周りの関係者に対しても学びのあるプログラムとなっている。**
障害者の**“超短時間雇用”に繋がる**などの事例や成果が生まれている。
- この体験を経て、一般就労はもちろん、アルバイトを始めたり、事業所に通い始めたりと、**社会参加への1歩を踏み出す方**が出てきている。
- 自走と継続を前提にしたプログラムの拡大と、行政の財源や補助金に頼らない仕組みの構築が課題。

【プログラム実施の様子】



Jリーグ 川崎フロンターレ



Bリーグ 川崎ブレイブサンダース

その他研究の詳細など

- 成果報告会のアーカイブ動画



「障害に学び、生涯に学ぶ。～それぞれの学びのデザイン～」

- 超福祉の学校ホームページ



主催：弊社
共催：文部科学省
渋谷区